

## 平成22年国勢調査 職業等基本集計結果

《平成24年10月23日総務省統計局公表資料による》

平成22年10月1日現在で行った平成22年国勢調査における職業別就業者数等のうち岡山県の概要は次のとおりです。  
 職業等基本集計は、就業者の職業(大分類)別構成等の状況に関する結果について集計したものです。  
 詳細データについては、総務省統計局ホームページ(<http://www.stat.go.jp/>)をご覧ください。

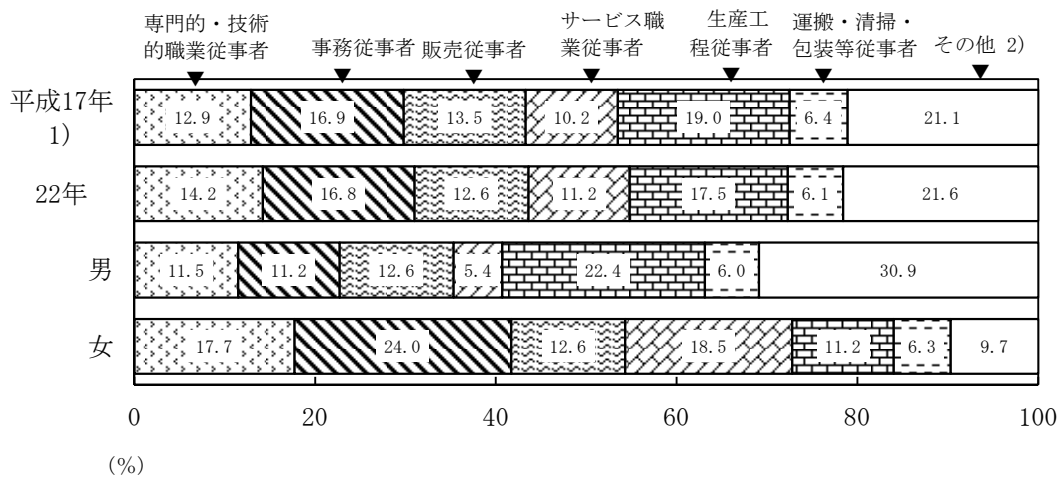
### 岡山県の職業別15歳以上就業者の状況

(単位:人、%)

区分 職業(大分類)	人 口	構成比	増 減 数	増 減 率
			(対前回:平成17年)	(対前回:平成17年)
総 数				
15 歳 以 上 人 口 2)	1,663,211	—	△ 11,161	△ 0.7
就 業 者 総 数	900,116	100.0	△ 38,664	△ 4.1
A 管理的職業従事者	19,640	2.2	△ 578	△ 2.9
B 専門的・技術的職業従事者	127,736	14.2	6,623	5.5
C 事務従事者	151,180	16.8	△ 7,175	△ 4.5
D 販売従事者	113,243	12.6	△ 13,485	△ 10.6
E サービス職業従事者	100,366	11.2	4,509	4.7
F 保安職業従事者	12,237	1.4	422	3.6
G 農林漁業従事者	42,275	4.7	△ 18,255	△ 30.2
H 生産工程従事者	157,787	17.5	△ 20,999	△ 11.7
I 輸送・機械運転従事者	34,258	3.8	△ 5,259	△ 13.3
J 建設・採掘従事者	42,460	4.7	△ 10,808	△ 20.3
K 運搬・清掃・包装等従事者	55,059	6.1	△ 4,581	△ 7.7
L 分類不能の職業	43,875	4.9	30,922	238.7

(注)総数には労働力状態「不詳」を含む。

図1 職業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成17年、平成22年）



1) 平成17年国勢調査 新職業分類特別集計結果による。同集計は、一部の調査票を抽出して集計した抽出詳細集計に基づいて集計しており、基本集計（全ての調査票を用いた集計）とは一致しない。

2) 「その他」に含まれるのは、「管理的職業従事者」、「保安職業従事者」、「農林漁業従事者」、「輸送・機械運転従事者」、「建設・採掘従事者」及び「分類不能の職業」である。

【用語の解説】

「職業」とは、就業者について、調査期間中、その人が実際に従事していた仕事の種類によって分類したものをいいます。（調査週間中「仕事を休んでいた人」については、その人がふだん実際に従事していた仕事の種類）

なお、従事した仕事が二つ以上ある場合は、その人が主に従事した仕事の種類によっています。

国勢調査に用いている職業分類は、日本標準職業分類を国勢調査に適合するように編成したもので、分類の詳しさの程度により、大分類、中分類、小分類があります。

平成22年国勢調査の職業分類は、平成21年12月に設定された日本標準職業分類を基準としており、大分類が12項目、中分類が57項目、小分類が232項目となっています。